

## 日本語と現代ギリシア語における 挨拶表現対照研究

浮田 三郎

### はじめに

各言語社会で何気なく使用されている挨拶表現を観察してみると、各々の表現あるいはその使われ方に特徴があり、そこには、各々の言語社会の特徴が映し出されている場合が多い。

日本語と現代ギリシア語の慣用的な挨拶表現を対照比較してみると、両国語で同様な場面で使用される挨拶表現でも、その表現の仕方や使われ方にはいくぶんかの差が見られる場合もある。それは、明らかな差であったり、微妙な差であったりする。また、日本語に見られる挨拶表現に対応するような表現が現代ギリシア語には存在しない場合や、その逆の場合もある。そして、そこには、それぞれの言語社会の文化的な背景とかものの考え方の差が窺える。

本考察では、多くの慣用的な挨拶表現の中で、特に一日の時間や一年の時期に関連した（制約を受ける）挨拶表現に関して、日本語と現代ギリシア語における語用論的に相対応している慣用的な挨拶表現のいくつかを対照比較することにより、両語の使用法上の相違を考察し、それぞれの言語の挨拶の表現法あるいは表現構造に見られる視点とかものの考え方の特徴を明らかにしてみたい。

ところで、ここで取り扱う慣用的な挨拶表現は、会った時や別れる時に発せられる代表的な挨拶表現で、ごく普通に見聞きするような簡単な表現に限ってみた。

### 1、一般的な挨拶表現

現代ギリシア語あるいは日本語に限らず、世界の言語における一般的な挨拶表現を構造的に見ると、省略などいくつかの特徴が見られ、省略されたと

考えられる部分がその挨拶表現の重要な意味を担っていると考えられる場合が多い<sup>1)</sup>。先ず、日本語と現代ギリシア語における挨拶表現のいくつかを対照してみよう。

以下に掲げる用例は、基本的には日本語の挨拶表現に対応している現代ギリシア語の挨拶表現をあげているが、現代ギリシア語には存在して日本語には存在しない様な表現もあげてある。したがって、日本語と現代ギリシア語の表現が一對一対応になっていない場合も沢山ある。

ところで、以下に掲げる、(J)、(G)、(E)の記号は、それぞれ日本語、ギリシア語、英語を指す<sup>2)</sup>。また、その他の記号は、(φ)が適当な対応例がない場合、(?)は普通は使われない、(\*)は文として成立するのが難しい場合を示す。{ }内には日本語の直訳を記す。英語の用例は対応すると思われる表現を参考のために挙げておく。[+ time]は、時間に関係している場合、[- time]は、時間に関係なく使用されることを示す。

- |  |          |
|--|----------|
| (J1) おはよう(ございます)。                              | [+ time] |
| (G1-1) Καλημέρα (σας) <sup>3)</sup> 。 { 良い日 }  | [+ time] |
| (G1-2) Γειά σου (σας) <sup>4)</sup> 。 { 君の健康 } | [- time] |
| (G1-3) Χαίρετε <sup>5)</sup> 。 { 喜んで下さい }      | [- time] |
| (E1) Good morning .                            | [+ time] |
|  |          |
| (J2) こんにちは。                                    | [+ time] |
| (G2-1) Καλημέρα。 { 良い日 }                       | [+ time] |
| (G2-2) Καλησπέρα。 { 良い宵 }                      | [+ time] |
| (G2-3) Γειά σου。 { 君の健康 }                      | [- time] |
| (G2-4) Χαίρετε。 { 喜んで下さい }                     | [- time] |
| (E2) Good afternoon.                           | [+ time] |

上記の(G1,2)Γειά σου (σας)や(G1,2)Χαίρετε。は、以下の(1)~(5)の表現はもちろん、その他の多くの表現に代わって使用される。

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| (J3) こんばんは。        | [+ time] |
| (G3) Καλησπέρα。    | [+ time] |
| (E3) Good evening. | [+ time] |
|                    |          |
| (J4) おやすみ(なさい)。    | [+ time] |

(G4)	Καληνύχτα (σας). { 良い夜 }	[ + time ]
(E4)	Good night.	[ + time ]
(J5)	きょうなら。	[ - time ]
(G5-1)	Ἄντίο (σας). { 神と共に }	[ - time ]
(G5-2)	Γεία σου(σας).	[ - time ]
(G5-3)	Χαίρετε.	[ - time ]
(G5-4)	Στό καλό. { 良きに }	[ - time ]
(G5-5)	Καλήν ἀντάμωση. { 良き会見 }	[ - time ]
(E5)	Good-bye.	[ - time ]
(J6)	ごめんください。	[ - time ]
(G6)	Χαίρετε.	[ - time ]
(E6)	Hello!	[ - time ]
(J7)	いらっしゃい。	[ - time ]
(G7-1)	Καλῶς ἤρθες. { 良く来た }	[ - time ]
(G7-2)	Ὅρῖστε. { 誓ってください }	[ - time ]
(E7)	Welcome.	[ - time ]
(J8)	しつれいします。	[ - time ]
(G8)	(φ) (Χαίρετε.)	[ - time ]
(E8)	(φ) (I'm afraid that I must say good-bye.)	[ - time ]
(J9)	いってきます。	[ - time ]
(G9)	(φ) (Γεία σου.)	[ - time ]
(E9)	(?) See you later.	[ - time ]
(J10)	いってらっしゃい。	[ - time ]
(G10)	(φ) (Στό καλό.)	[ - time ]
(E10)	(φ) See you later.	[ - time ]
(J11)	ただいま。	[ - time ]
(G11)	(φ) (?) Τώρα γύρισα. { 今帰った }	[ - time ]
(E11)	(?) Hullo, here I am.	[ - time ]

- (J12) お帰りなさい。 [- time]  
 (G12) Καλῶς ἦρθες. [- time]  
 (E12) (?) Oh, you're back. [- time]
- (J13) はじめまして。 [- time]  
 (G13) Χαίρω πολύ. {大変嬉しい} [- time]  
 (E13) How do you do? [- time]
- (J14) どうぞ、よろしく。 [- time]  
 (G14) (?) Παρακαλῶ, {お願いします} [- time]  
 (E14) (?) Please continue your favors toward me. [- time]
- (J15) いただきます。 [- time]  
 (G15) Καλή ὄρεξη. {良き食欲} [- time]  
 (E15) Bon appetit. [- time]
- (J16) どうぞ (めしあがれ)。 [- time]  
 (G16) Καλή ὄρεξη. {良き食欲} [- time]  
 (E16) Bon appetit. [- time]
- (J16) ご馳走様。 [- time]  
 (G16) Καλή χώνεψη. {良き消化} [- time]  
 (E16) That was delicious. [- time]
- (J17) 乾杯。 [- time]  
 (G17-1) Γειά σᾶς. ( Εἰς τήν γειά σᾶς.) {あなたの健康(に)} [- time]  
 (G17-2) Ἄσπρο πάτο. {白い底} [- time]  
 (E17) Cheers. [- time]
- (J18) 良いお年を。 [+ time]  
 (G18-1) Καλή χρονιά. {良い年} [+ time]  
 (G18-2) Χρόνια πολλά. {年多く} [+ time]  
 (G18-3) Εὐτυχισμένος ὁ καινούργιος χρόνος. {幸福な新年} [+ time]  
 (E18) A happy new year. [+ time]

(J19) 明けましておめでとうございます。	[ + time]
(G19-1) Καλή χρονιά. { 良い年 }	[ + time]
(G19-2) Χρόνια πολλά. { 年多く }	[ + time]
(G19-3) Εύτυχισμένος ὁ καινούργιος χρόνος. { 幸福な新年 }	[ + time]
(E19) A happy new year.	[ + time]
(G20) Καλά Χριστούγεννα. { 良いクリスマス }	[ + time]
(J20) (φ)	
(E20) Merry Christmas.	[ + time]
(J21) ありがとう。	[ - time]
(G21) (Σᾶς) Εὐχαριστῶ. { 感謝する }	[ - time]
(E21) Thank you.	[ - time]
(J22) どういたしまして。	[ - time]
(G22) Παρακαλῶ.	[ - time]
(E22) You are welcome.	[ - time]
(J23-1) ごめんなさい	[ - time]
(J23-2) すみません	[ - time]
(G23-1) Συγγνώμη. { 許し }	[ - time]
(G23-2) Με συγχωρήστε. { 私を許してください }	[ - time]
(E23) I am sorry.	[ - time]

以上のように、比較的よく見聞きする挨拶表現をあげてみると、大ざっぱに分けて、一日の時間とか一年の時期に関連して（あるいは制約のもとで）使われる表現と時間などとは無関係に使用される表現が見られる。前にも述べたが、日本語の表現と現代ギリシア語の表現が丁度うまく一対一対応をしていないことも分かる。

また、お互いに一対一対応をしているように見える表現でも、使用されている語彙などそれぞれ異なった部分が見られる。時間とか時期に制約される挨拶表現に関しても、日本語と現代ギリシア語の表現にはそれぞれ差がみられる。

これらの表現の使用法上の違いは、おそらく、これらの挨拶表現に使用さ

れている語句の本来の意味とそれぞれの省略形の元になると思われる表現が本来もっていた意味内容の違いによるものであろう。

以下にそれを見てみよう。

## 2、時間の制約の中で使われる表現

一日の時間の制約の中で使われる挨拶表現を抜きだしてみると、日本語、現代ギリシア語の場合とも、一応用例(1)~(4)があげられるであろう。表現「こんにちは」は、表現自体では、必ずしも時間に言及してはいないが、普通使用される時間帯は設定される。それらがどの時間帯に使用されるかを図表にしてみると、以下のようなになる。以下の図表では、==の部分は一般的に使用されるが、--の部分は一般的ではないが使用されることもあることを示す。また、以下に示す時間は便宜的なもので、日本でもギリシアでも夕方や夜の感覚は、夏と冬では相当異なると思われる<sup>6)</sup>が、ここでは大体彼岸の頃の時間帯で考えてみた。

時間	朝	午前	午後	夕方	夜			
挨拶表現	-- 8	10	12	14	16	18	20	--
(J1) おはよう。	=====							
(G1-1) Καλημέρα.	=====							
(E1) Good morning.	=====							
(J2) こんにちは。			-----					
(G2-1) Καλημέρα.	=====							
(G2-2) Καλησπέρα.			-----					
(E2) Good afternoon.			=====					
(J3) こんばんは。					=====			
(G3) Καλησπέρα.			-----					
(E3) Good evening.					-----			
(J4) おやすみ。					=====			
(G4) Καληνύχτα.					-----			
(E4) Good night.					=====			

(J5) さようなら。	=====
(G5) 'Αντίο.	=====
(E5) Good-bye	=====
(G2-3) Γειά σου.	=====
(G2-4) Χαίρετε.	=====
(G-+) (その他の表現)	=====

この図表を見ると、一般的には概ね対応していると考えられる日本語とギリシア語の表現でも、使用されている時間帯は正確には一致していないことが分かる。

(J1)と(G1-1)の場合でも、「おはよう」は、必ずしも「朝」を限定するものではないが、大体午前中に使用され、一方、<Καλημέρα>も、この表現そのものは「朝」を限定するものではないが、大体午前中と午後のごく早い時間帯に使用されている。このように、使用される時間帯は正確には一致していないことが分かる。

また、日本語の「こんにちは」が使用される時間帯に使用される現代ギリシア語の表現は、(G2-1)か(G3)の表現が挙げられるが、一般的には、(G3)の表現に対しては、(J3)の表現が対応していると考えられる。即ち、表現の意味内容から考えると、*ἑσπέρα* (Lat. *vesper*) は「夕方」の意味であり、この表現の原意は「良い宵を」といった意味になるからである。しかし、上記のように、(G3)の表現が早い時間帯から使用されているのが興味深い<sup>7)</sup>。

また、私の経験では、<Καλησπέρα.>は、午後のかかなり早い時間から使用する者もいるようで、日本語の「今晚は」の感覚とはかなり隔たりがあるようであるが、「今晚は」に当たる時間帯ではやはりこれが使用される。また、時間に関係なく使用されている挨拶表現<Γεία σου(σας).>や<Χαίρετε.>などもよく使用される。

ところで、表現の意味内容から考えてみると、“*μέρα*”は、「日」であり、必ずしも「朝」ではないから、<Καλημέρα>は、日中も使用されてもいいはずであるが、昼も遅い時間になると(G3)が使用されるのが一般的である。では、*ἑσπέρα*は、いつからであろうかという点が問題となるが、表現に生活様式の時間帯が影響していると考え、ギリシアでは昼食後は仕事をしない日が一週間に何日かあること、あるいは「午睡(シエスタ)」の時間があることが関係しているのかも知れない。

生活様式の点からみると、昼食も、日本では午後正午から午後1時頃までにとられるのが普通で、ギリシアでは午後1時から3時頃までにとられるのが普通である。日本に比べるとかなり遅い時間にとられるようである。そして、普通はこれが正餐で、伝統的には家族が全員で食事するようである。また、特に夏などには食後に午睡の時間が3時から5時頃までであり、この時間帯に、住宅街で大声で騒いだりすると、安眠妨害で苦情を言われることになる。さらに、この「昼食」と関連している語に"ἀπόγευμα"がある。直訳すれば「食後」であるが、例えば、「ἀπόγευμα に会いましょう」などと言う時の"ἀπόγευμα"は、実際には、五時頃から宵の口頃まで指すようであり、この場合、上記の「午睡」の時間帯も関係していると考えれば、会うことのできる「食後」とは、「食後の午睡の後」ということになるのであろうか。会った時の挨拶は<Καλησπέρα.>か時間に関係ない<Γειά σου.>などである。

現代ギリシア語では「朝」はπρωίであるが、普通<Καλό πρωί>などとは言わない。また、真昼(日中)は、"μεσημέρι"であるが、<Καλό μεσημέρι.>も、単純な挨拶表現としては普通使用されない。

ちなみに、現代ギリシア語では<καλό βράδι>(「良い夕べを」)という表現があり、これも午後2時頃でも別れるときなどに用いられるようであるが、これは、<καλό βράδι (νά ἔχεις).>即ち「君がが楽しい夕べを過ごすように」と願う祈願文の省略といったニュアンスで使用され、単なる挨拶の<Καλησπέρα>とは異なるようである。もちろん、上に挙げた現代ギリシア語の挨拶表現の原型は祈願文であると考えられる<sup>9)</sup>。

もちろん、「夕方」の時間帯は、日本でもギリシアでも夏と冬では異なるのは当然であり、(J3)や(G3)の使用時間帯もそれに連れて異なる。

また、日本語の場合も、表現の語彙の点から考えてみると、「こんにちは」は、一日中使用されてもいい訳であるが、上の図表でみられるように、大体三つの時間区分に分けられて、表現が使用されてるようである。一方、現代ギリシア語の場合、語彙の面からみれば、<Γειά σου.>や<Χαίρετε.>などは一日の時間とは全く無関係で、別れの時にも使われ、一日の時間には制約されないで幅広く使用されている。<Γειά σου(σας).>は、酒を飲む時の「乾杯」の発声と同様にも使われる。

### 3、期間の制約の中で使われる表現

一日の時間帯の制約の中で使われる表現と関連して、一年間の内である時期の期間の制約の中で使われる挨拶表現も考えてみよう。(18)や(19)などが



考えられる。

例えば、(J19)は、年が明けて初めて使える表現に対して、(G19-1~3)は、年が明ける前から使える挨拶である。したがって、(18)と(19)に関連した表現に関して簡単な図表にして示すと、

挨拶表現	(12月)			(1月)			
	15	20	25	31/1	5	10	15
よいお年を	-----						
明けましておめでとう	=====						
新年おめでとう	=====						
Καλά Χριστούγεννα.	-----						
Καλή Χρονιά	-----						
Χρόνια πολλά.	-----						
Εύτυχισμένος...	-----						

のようになり、日本語の場合には、表現の中に「明けまして」とか「おめでとう」などのことばが使用されており、事前に使用すれば不自然になる。「明けまして」は、表現通り、年が明けてからでなくては意味が通らなくなるし、「おめでとう」は、何か物事が成ったことに対して使用されるもので、新年になっていなければ使用されない。

一方、「いいお年を」と言う表現は、「良いお年をお迎え下さい。」といった文の省略型と考えられるので、現代ギリシア語の〈Καλή χρονιά.〉が、〈Σας εύχομαι νά έχετε μιá καλή χρονιά.〉{良い年をおもちになりますように}の省略型と考えられるので、両語同様な表現のようではあるが、日本語のこの表現は大晦日を過ぎると使用されないのに、現代ギリシア語のこの表現は、大晦日の何日か前から(十二月の上旬から)また大晦日を過ぎて一月の下旬までも使われている。

現代ギリシア語の場合、一月の下旬まで使用されるのは、「新しい年」は、一月一日に始ってもなお十二カ月間あり、一月十五日頃もまだ新年の初めであり、「幸せな新年を過ごしてください」との意味で、〈Καλή χρονιά〉が使用されても不自然ではないようであるが、日本語の場合は、「一月一日から始まる新しい一年を迎えてください」といった表現であり、「良いお年を」は、大晦日を過ぎて即ち新年を既に迎えてから使用されると、不自然である。

それに対して、< Καλά Χριστούγεννα.>は、< Σās εϋχομαι νά ἔχετε καλά χριστούγεννα.>の省略型と考えられ、省略の構造は上の表現と同様であるが、これは、十二月二十五日を過ぎると、使用されない。このことは、当然、クリスマスは、十二月二十五日の「祭り」であり、これは当日で過ぎてしまい、その後この表現が使用されるのは不自然だからである。ちなみに、英国では二十六日にも使う人がいるようである。

ところで、ギリシアでは、十二月二十五日と一月一日は大きな「祝祭の日」で、また冬期には多くの聖人の「誕生日」があり、この時期は「祝祭の季節」とも呼ばれており、< Χρόνια πολλά.> という挨拶はよく聞かれる。この表現は、また誕生日の挨拶によく使用される。

また、日本語には、現代ギリシア語の Καλά Χριστούγεννα.に対応する表現が見られない。宗教（キリスト教）に関連した表現であるから、当然と言えば当然であるが、それに代わるような、例えばお盆の時期の挨拶表現がない。

## \*おわりに

以上のように、日本語と現代ギリシア語の日常の挨拶表現の中で、特に一日の時間あるいは一年の時期に制約される表現を対照して、それぞれの言語の表現の特徴を考察した。

一般的に両語で対応していると思われる挨拶表現でも、使用される一日の時間帯あるいは一年の時期に微妙なあるいは明らかなずれがあったりする。それは、日本とギリシアでは、習慣の違いがあったり、それぞれ、朝昼夕夜 of 概念が微妙に異なっていたりするからであろう。あるいは、表現方上の相違、すなわち、挨拶表現に使用されている語句の本来の意味や省略されていると考えられる語句の意味も関係している。

また、今回考察した表現を英語と対照比較してみても、興味ある微妙な相違点が見られるようである。

## 注

- 1) 浮田三郎、1994、「挨拶表現に見られる日本的表現法」、『広島大学留学生センター紀要』、広島大学。
- 2) 現代ギリシア語の用例に関しては、言語学者の Νικόλαος Κοντοσόπουλος 氏とギリシアからの留学生 Παναγιώτης Γκρέκος さんに、英語の場合は、

英国からの留学生の Genma Burnett さんに、意見をお聞きした。

- 3) 丁寧な表現あるいは敬語表現の場合、2人称複数形の所有代名詞 *σας* が使用されるが、親しい間柄の表現の場合、単数形の *σου* は、普通使用されない。ところが *Γειά σας* と *Γειά σου* は敬体と非敬体が対立している。興味ある現象である。
- 4) 日本語にも間投詞的な「やあ」とか「ちわっ」のような挨拶表現もあるが、これらはかなりくだけた(俗語的)な表現で、*Γειά σου(σας)* などの表現とはかなり異なるので、ここでは取り上げない。
- 5) 形は命令法の2人称複数形で、丁寧な表現である。これに対して、非敬体と考えられる2人称単数形の "*Χαίρε*" は、純正語では使用されるが、民衆語の普通の挨拶表現では使用されない。民衆語では敬体のこの形だけが慣用表現として使用されていることは、興味ある現象である。
- 6) 特にギリシアでは、夏は夏時間が使用されるので、日が暮れるのは、日本よりも一時間以上も遅くなり、午後九時過ぎてもまだ明るく、日本の九時頃の感覚とはかなり異なっている。
- 7) 午後の早い時間帯には *Καλό μεσημέρι* という表現が使用されることもあるが、余り一般的ではない。
- 8) とところで、*Καλημέρα* の元の形は、*Σοῦ εὐχόμε μιά καλή μέρα* だと考えられるが、この完全な文の形の表現は、会った時の挨拶ではなく別れる時の挨拶表現であり、前者とは実際の使用法で異なる。注1) 参照。

## 参考文献

- 浮田三郎、1994、「挨拶表現に見られる日本的表現法」、『広島大学留学生センター紀要』、広島大学。
- 奥山益朗 編、1970、『あいさつ語辞典』、東京堂出版
- 金田一晴彦 編、1975、『ことばの研究室 日本語の特色』、堅省堂
- 関本至、1968、『現代ギリシア語文法』、溪水社
- 野元菊雄・野林正路 監修、1975、『ことばと文化 一日本語と文化・社会 3-』、三省堂
- Μπαμπηγιώτου, Γ. -Κοντοῦ, Π., 1967, *Συγχρονική Γραμματική τῆς Κοινῆς Νέας Ἑλληνικῆς*, Ἀθῆναι.
- Τζαρτζάνου, Α. Α., *Νεοελληνική Σύνταξις, Τόμος Α΄*, 1946(B΄ ἔκδοσις), Τόμος Β΄, 1963(B΄ ἔκδοσις), Ἀθῆναι:Ο.Ε.Σ.Β.
- Τριανταφυλλίδη, Μ., 1976, *Νεοελληνική Γραμματική*, Ἀθῆναι:Ο.Ε.Δ.Β.

( SUMMARY )

**A Contrastive Analysis of Expressions of Daily Greetings  
in Japanese and Modern Greek**

**Saburo UKIDA**

The aim of this paper is to clarify the difference of expressions in daily greetings between in Japanese and in modern Greek, in the contrastive analysis of expressions used in daily greetings in these two languages.

The greetings here can approximately be divided into two groups: the one which is concerned with (used in the restraint of) the time of a day or the seasons and the other which is not.

In this analysis, I mainly observed the expressions belonging to the former group. The expressions, which seem to be pragmatically used in the same way in the two languages, are used differently in some cases. For example, "Ohayo gozaimasu" in Japanese is used in the morning, but "Καλημέρα" in modern Greek is used in the morning and in the early afternoon. And "Καλησπέρα" is used in the late afternoon and in the evening. "Akemashite omedeto gozaimasu" is used in the former days of January and never used in december, but "Καλή χρονιά" is used in the most days of december and in the most days of January, etc..

The difference is caused by the characteristics of structural ellipsis and the two nations' habits and cultural backgrounds. We can observe, therefore, the cultural characteristics displayed in those greetings.